

1 次の空欄を埋めよ。

(1)  $\cos 15^\circ = \cos 60^\circ \cos 45^\circ + \sin 60^\circ \sin 45^\circ = \frac{\sqrt{2} + \sqrt{6}}{4}$

(2)  $\cos^2 15^\circ = \frac{1 + \cos 30^\circ}{2} = \frac{2 + \sqrt{3}}{4}$   
 $\cos 15^\circ > 0$  ゆえ、 $\cos 15^\circ = \frac{2 + \sqrt{3}}{2}$

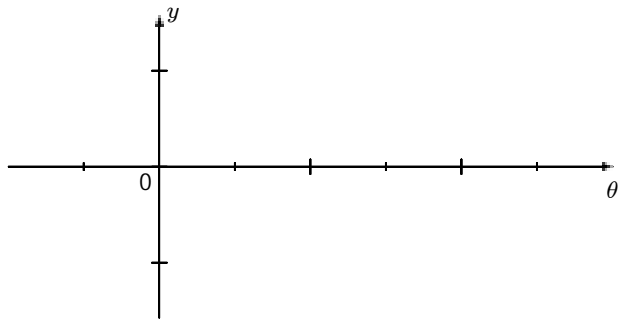
(3)  $\sin(\theta + 30^\circ) = \frac{\sqrt{2}}{2}$  ( $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ ) を解く。  
 $x = \theta + 30^\circ$  とおくと、 $30^\circ \leq x < 390^\circ$  でかつ  $\sin x = \frac{\sqrt{2}}{2}$ . これを解くと、 $x = 45^\circ, 135^\circ$ . よって、 $\theta = 15^\circ, 105^\circ$

(4) 不等式  $\cos \theta < \frac{1}{2}$  ( $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$ ) の解は、 $60^\circ < \theta < 300^\circ$

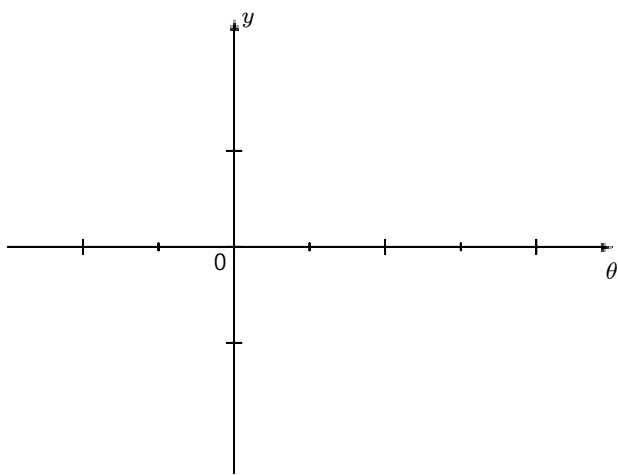
(5)  $\alpha, \beta$  が鋭角で、 $\tan \alpha = 2, \tan \beta = 3$  のとき、 $\tan(\alpha + \beta) = -1$  で、 $0^\circ < \alpha + \beta < 180^\circ$  だから  $\alpha + \beta = 135^\circ$

2 次の関数のグラフをかけ。また、周期を求めよ。(2) は、漸近線の方程式もすべて求めよ。

(1)  $y = \sin 2\theta$  周期は  $180^\circ$

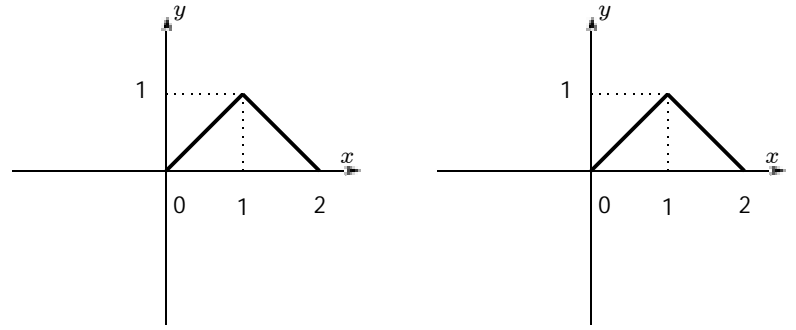


(2)  $y = \tan \theta$  周期は  $180^\circ$   
 漸近線は  $\theta = 90^\circ + 180^\circ \times n$  ( $n$  は整数)

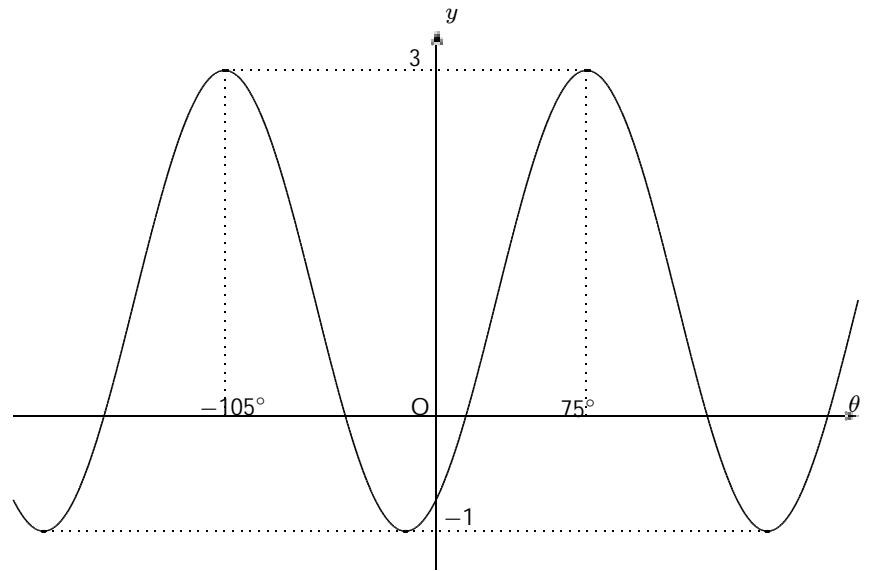


3 次の問に答えよ。また空欄に適当な数を入れよ。

(1) 次のグラフが奇関数のグラフと (2) 次のグラフが、周期 2 の関数のなるように  $-2 \leq x \leq 0$  の部分を グラフとなるように  $-2 \leq x \leq 0$  の部分を描け。



(3) 下は  $y = A \sin(B\theta - C) + D$  のグラフである。最大値は  $\text{ア}$  で最小値は  $\text{イ}$ 、最大値と最小値の平均は  $\text{ウ}$  ゆえ、 $A = \text{エ}$ 、 $D = \text{オ}$ 。周期は  $\text{カ}$  ゆえ、 $B = \text{キ}$ 。また、 $C = \text{ク}$  となる。ただし、 $A, B, C$  は正の数 (角) とし、可能な値が複数ある場合は、最小の値とする。



ア	3	イ	-1	ウ	1	エ	2
オ	1	カ	180°	キ	2	ク	30°

4  $\alpha, \beta$  をともに第 1 象限の角とする。  $\sin \alpha = \frac{3}{5}, \cos \beta = \frac{1}{2}$  であるとき、 $\sin(\alpha + \beta)$  の値を求めよ。

- 解答例 -

$0^\circ < \alpha < 90^\circ$  ゆえ、 $\cos \alpha = \frac{\sqrt{1 - \sin^2 \alpha}}{1} = \frac{\sqrt{1 - \frac{9}{25}}}{1} = \frac{4}{5}$

$0^\circ < \beta < 90^\circ$  ゆえ、 $\sin \beta = \frac{\sqrt{1 - \cos^2 \beta}}{1} = \frac{\sqrt{1 - \frac{1}{4}}}{1} = \frac{\sqrt{3}}{2}$

よって、

$\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$   
 $= \frac{3}{5} \times \frac{1}{2} + \frac{4}{5} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{3 + 4\sqrt{3}}{10}$

その 1 の得点

5 直線  $y = 2x$  と直線  $y = \frac{1}{3}x$  のなす角  $\theta$  を求めよ。ただし  $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  とする。

— 解答例—

直線  $y = 2x, y = \frac{1}{3}x$  が  $x$  軸の正の向きとなす角をそれぞれ  $\theta_1, \theta_2$  とおくと、図(省略)より

$$\theta = \theta_1 - \theta_2, \tan \theta_1 = 2, \tan \theta_2 = \frac{1}{3}.$$

$$\tan \theta = \tan(\theta_1 - \theta_2) = \frac{\tan \theta_1 - \tan \theta_2}{1 + \tan \theta_1 \tan \theta_2} = \frac{2 - \frac{1}{3}}{1 + \frac{2}{3}} = 1.$$

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  ゆえ、 $\theta = 45^\circ$ .

6  $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  のとき、次の不等式を解け。

(1)  $\sin 2\theta = \sqrt{3} \sin \theta$

— 解答例—

倍角公式から、

$$\begin{aligned} 2 \sin \theta \cos \theta &= \sqrt{3} \sin \theta \\ \sin \theta (2 \cos \theta - \sqrt{3}) &= 0 \end{aligned}$$

$$\therefore \sin \theta = 0 \text{ または } \cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}.$$

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  ゆえ、 $\theta = 0^\circ, 180^\circ, 30^\circ, 330^\circ$ .

(2)  $\sqrt{2} \sin(2\theta - 60^\circ) > 1$

— 解答例—

$2\theta - 60^\circ = X$  とおくと、与式は、

$$\sin X > \frac{\sqrt{2}}{2} \quad (-60^\circ \leq X < 660^\circ) \text{ となる.}$$

図(省略)より、これを解くと、

$$45^\circ < X < 135^\circ, 405^\circ < X < 495^\circ.$$

よって、

$$\frac{105^\circ}{2} < \theta < \frac{195^\circ}{2}, \frac{465^\circ}{2} < \theta < \frac{555^\circ}{2}.$$

7  $0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  のとき、関数  $y = \cos 2\theta + 2 \sin \theta + 1$  の最大値、最小値を求めよ。また、そのときの  $\theta$  の値も求めよ。

— 解答例—

倍角公式より

$$y = 1 - 2 \sin^2 \theta + 2 \sin \theta + 1 = \dots = -2 \sin^2 \theta + 2 \sin \theta + 2$$

グラフ(省略)より

$$\text{最大値 } \frac{5}{2} \quad \sin \theta = \frac{1}{2}$$

$$\text{最小値 } -2 \quad (\sin \theta = -1)$$

$0^\circ \leq \theta < 360^\circ$  ゆえ、

$$\sin \theta = -1 \text{ を解くと、 } \theta = 270^\circ.$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \text{ を解くと、 } \theta = 30^\circ, 150^\circ.$$

よって、最大値  $\frac{5}{2}$  ( $\theta = 30^\circ, 150^\circ$ ), 最小値  $-2$  ( $\theta = 270^\circ$ )

8 連立方程式  $\begin{cases} \sin 2x + \cos y = 1 \\ \sin y + \cos 2x = 1 \end{cases}$  ( $0^\circ \leq x, y < 360^\circ$ ) を解け。

— 解答例—

与式を平方すると、

$$\sin^2 2x + 2 \sin x \cos y + \cos^2 y = 1$$

$$\sin^2 y + 2 \sin y \cos 2x + \cos^2 2x = 1$$

辺々加えて

$$2(\sin 2x \cos y + \sin y \cos 2x) = 0. \text{ よって、} \sin(2x + y) = 0.$$

これを解いて、 $2x + y = 360^\circ \times n$  または  $180^\circ + 360^\circ \times n$  ( $n$  は整数)

$2x + y = 360^\circ$  のとき、与式に代入すると

$$\sin(-y) + \cos y = 1, \sin y + \cos(-y) = 1.$$

これから、 $\sin y = 0, \cos y = 1$  となる。 $0^\circ \leq y < 360^\circ$  ゆえ、 $y = 0^\circ$ .

与式に代入し、 $\sin 2x = 0, \cos 2x = 1$ .  $0^\circ \leq 2x < 720^\circ$  ゆえ、 $x = 0^\circ, 180^\circ$ .

$2x + y = 180^\circ + 360^\circ$  のとき、与式に代入すると

$$\sin(-y + 180^\circ) + \cos y = 1, \sin y + \cos(-y + 180^\circ) = 1.$$

よって、 $\sin y + \cos y = 1, \sin y - \cos y = 1$ .

これを解くと、 $\sin y = 1, \cos y = 0$ .  $0^\circ \leq y < 360^\circ$  ゆえ、 $y = 90^\circ$ .

与式に代入し、 $\sin 2x = 1, \cos 2x = 0$ .  $0^\circ \leq 2x < 720^\circ$  ゆえ、 $x = 45^\circ, 225^\circ$ .

まとめて、 $(x, y) = (0^\circ, 0^\circ), (180^\circ, 0^\circ), (45^\circ, 90^\circ), (225^\circ, 90^\circ)$ .

【別解】 $(1 - \sin 2x)^2 + (1 - \cos 2x)^2 = 1$  からはじめると、 $\sin 4x = 0$  を得る。

	合計点
その 2	